

平成29年度病床機能報告結果(速報値)

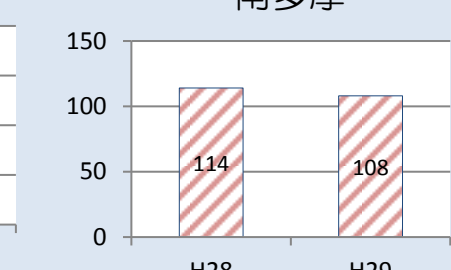
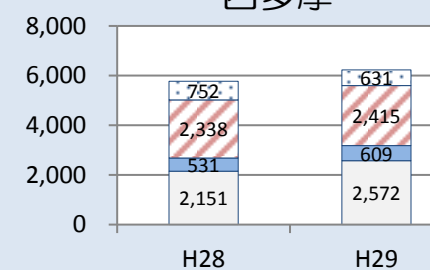
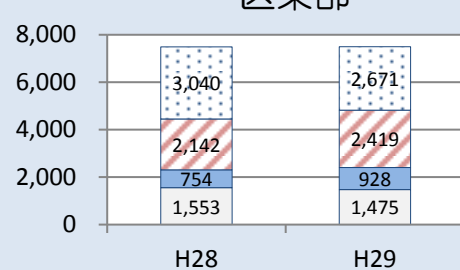
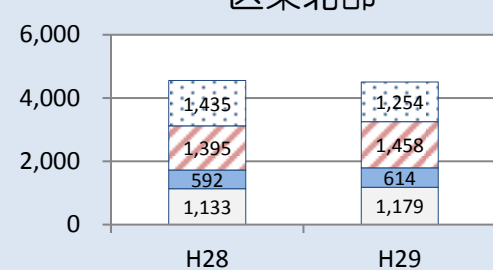
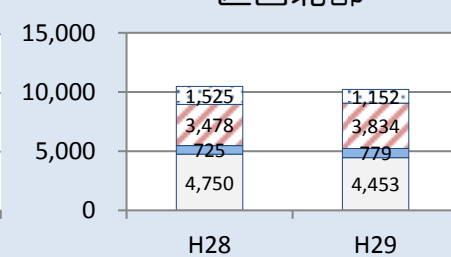
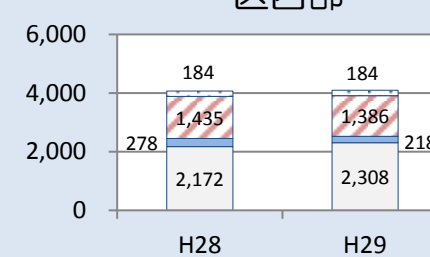
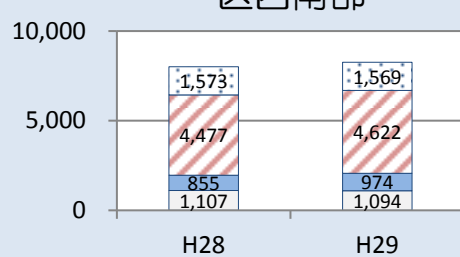
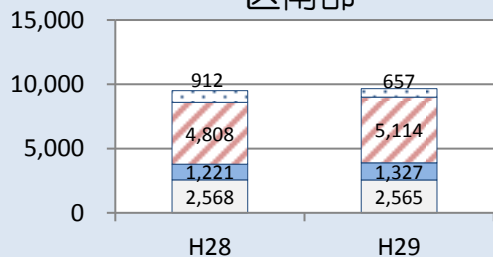
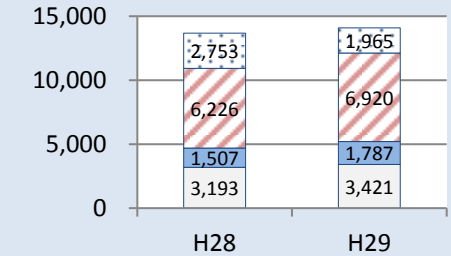
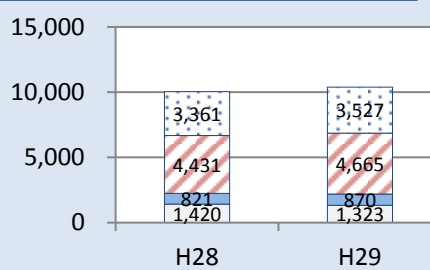
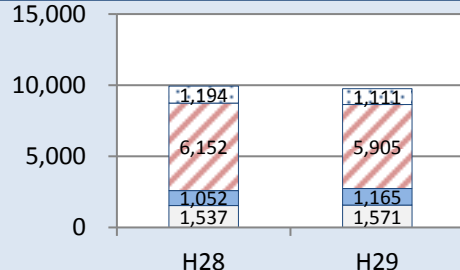
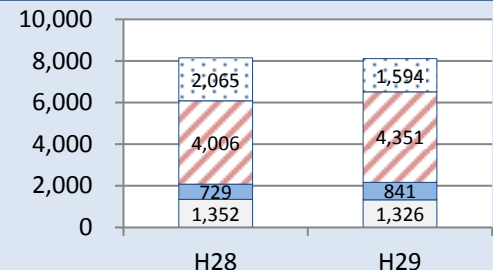
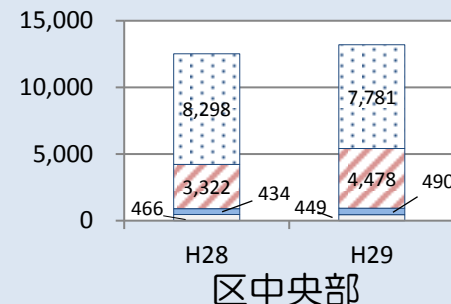
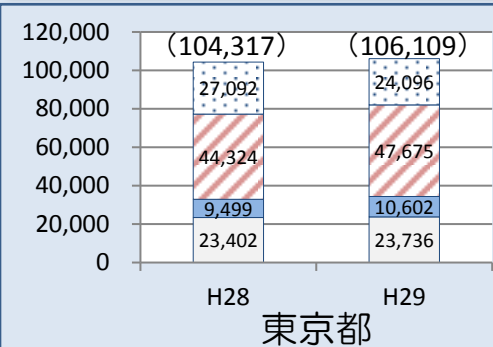
H28-29比較 <4機能別許可病床数>

凡例 □高度急性期 □急性期
 ■回復期 □慢性期

<結果の概要(東京都)>

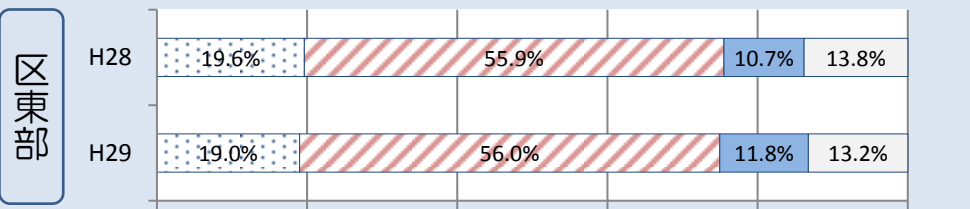
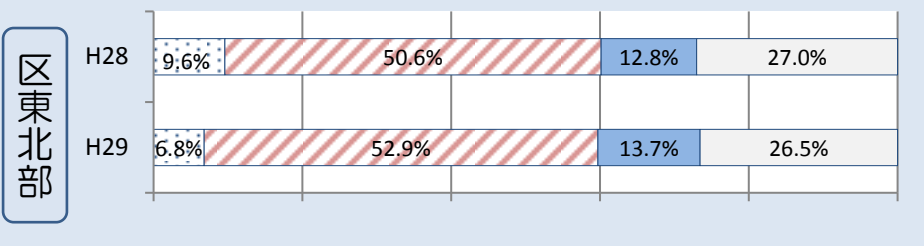
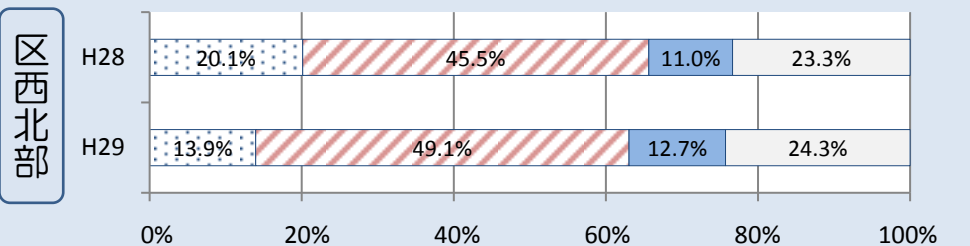
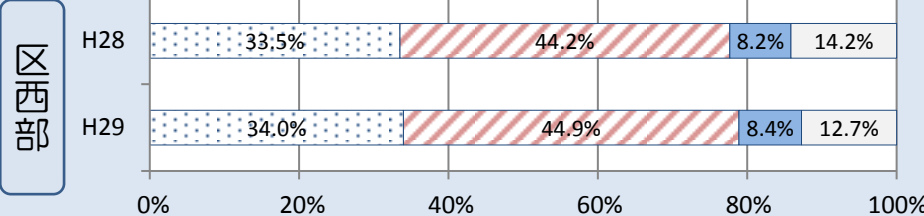
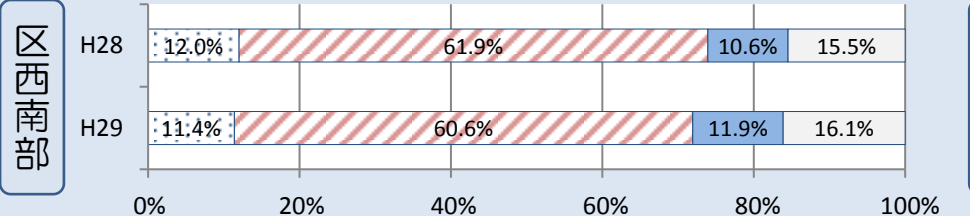
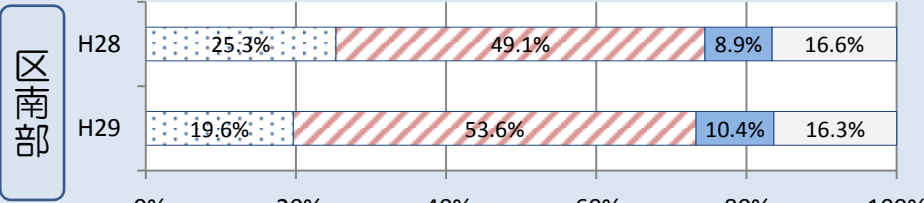
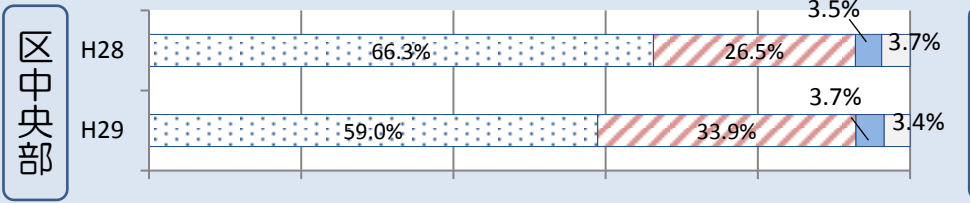
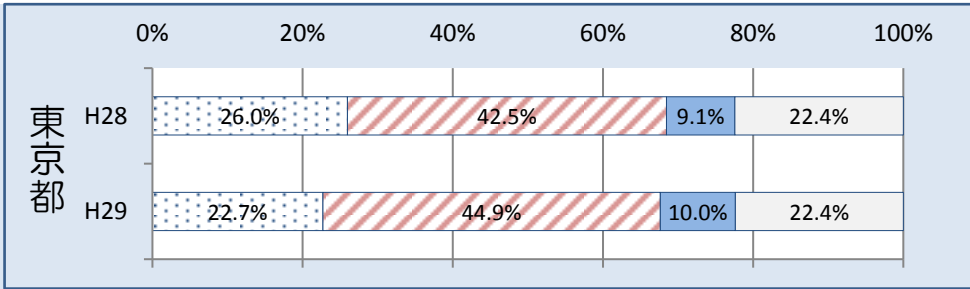
○平成28年度結果に比べ、病床数全体は、1,792床増

(機能別増減) 高度急性期機能 2,996床減
 急性期機能 3,351床増
 回復期機能 1,103床増
 慢性期機能 334床増



平成29年度病床機能報告結果(速報値)

H29-28比較 <4機能別許可病床数の割合/区部>

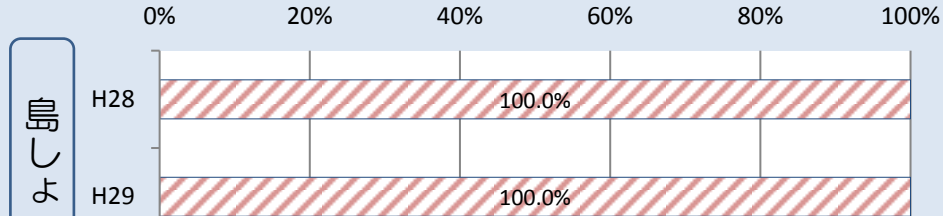
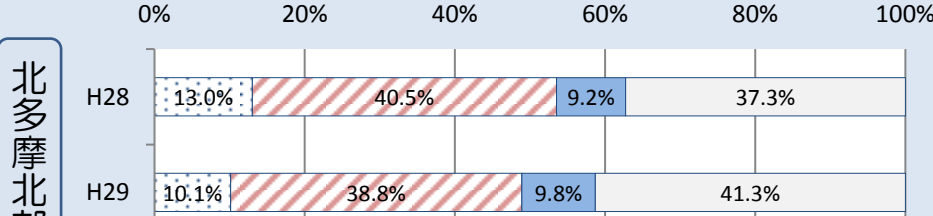
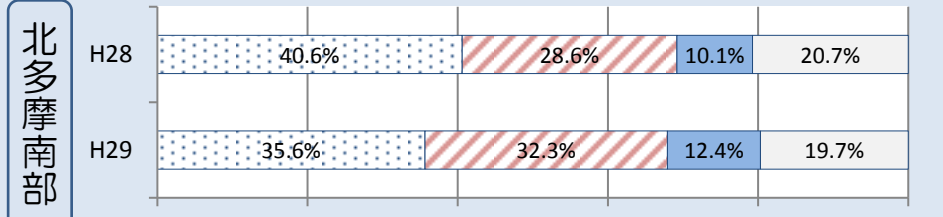
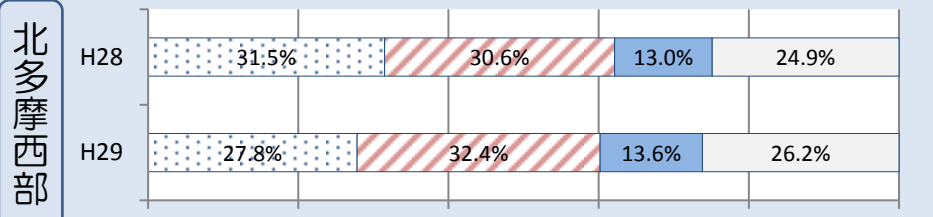
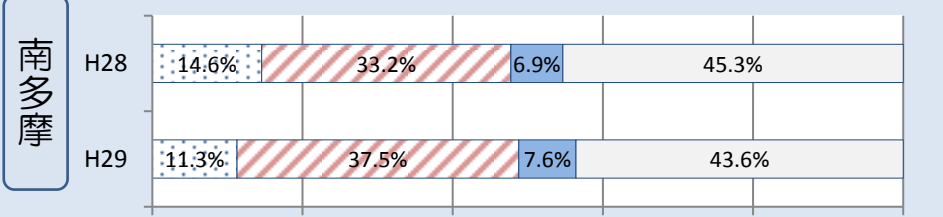
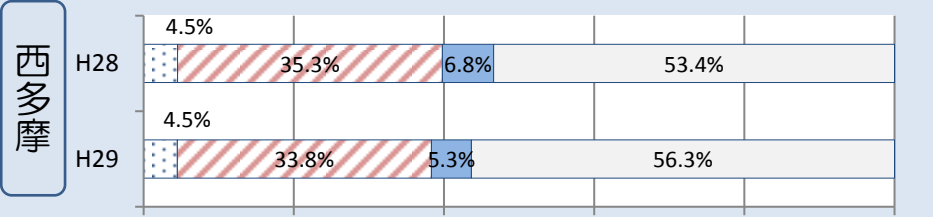


凡例

- 高度急性期
- 急性期
- 回復期
- 慢性期

平成29年度病床機能報告結果(速報値)

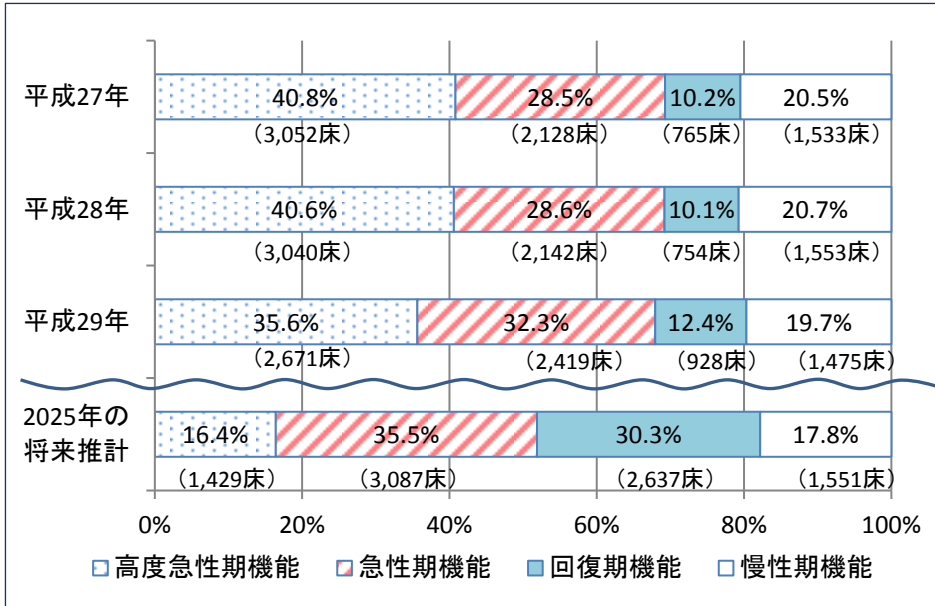
H29-28比較 <4機能別許可病床数の割合／多摩・島しょ>



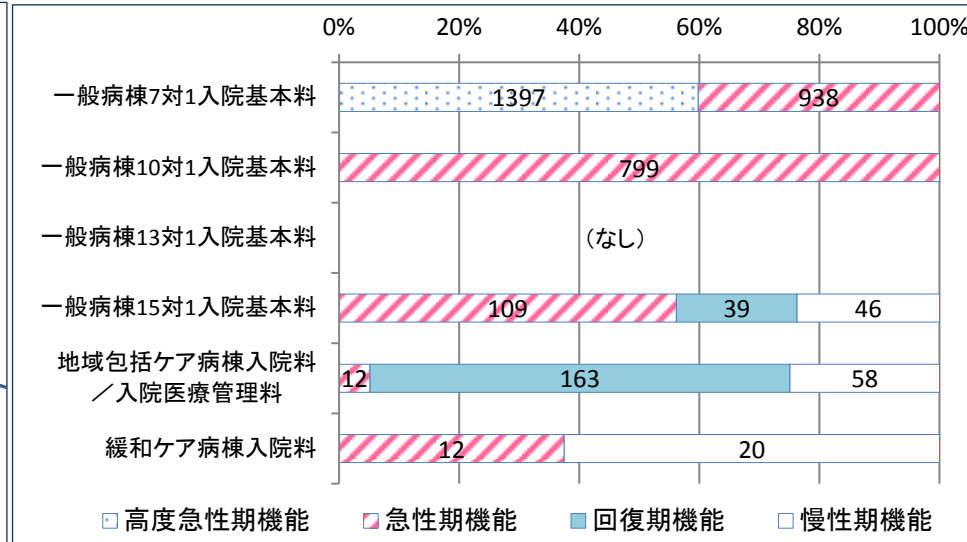
凡例

- 高度急性期 (dotted pattern)
- 急性期 (diagonal stripes)
- 回復期 (solid blue)
- 慢性期 (solid light blue)

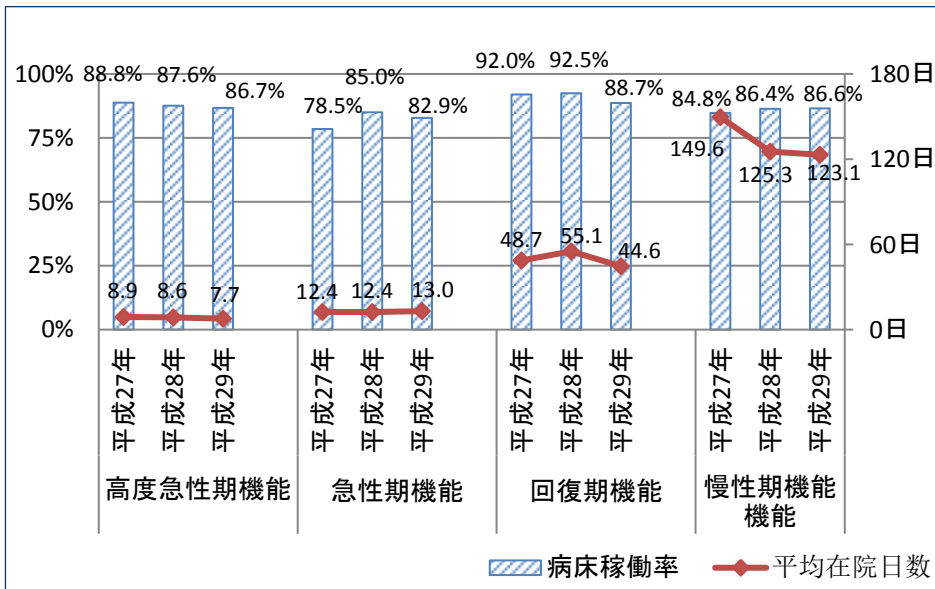
①4機能別病床数の推移(平成27年度～平成29年度)



③入院料×機能



②病床稼働率と平均在院日数の推移(平成27年度～平成29年度)



④退院後1ヶ月以内に在宅医療を必要とする患者の割合

	在宅医療を必要としない患者(死亡退院を含む)	自院が在宅医療を提供する予定の患者	他施設が在宅医療を提供する予定の患者	在宅医療の実施予定が不明の患者
高度急性期機能	5,530 96.8%	15 0.3%	140 2.4%	30 0.5%
急性期機能	3,444 90.4%	20 0.5%	169 4.4%	176 4.6%
回復期機能	337 62.3%	19 3.5%	185 34.2%	0 0.0%
慢性期機能	174 63.7%	28 10.3%	16 5.9%	55 20.1%

⑤退院調整部門を置いている病院の割合 63.9%(前年度59.0%)

- ①高度急性期・慢性期機能が減少し、急性期・回復期機能が増
- ②慢性期機能以外は病床稼働率が下がっている。
- ③7:1病床において、高度急性期機能での報告割合が高い。地域包括ケア病棟では、回復期機能での報告割合が高い。緩和ケア病棟では、慢性期機能での報告割合が高い。
- ④回復期機能では、退院後に他施設で在宅医療を提供する患者の割合が高い。
- ⑤退院調整部門の設置割合が都平均を上回った。